



2023年11月10日

各 位

会社名 アキレス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 日景 一郎  
(コード番号 5142 東証プライム)  
問合せ先 取締役管理部門統轄補佐兼経理本部長  
河野 和晃  
(TEL 03- 5338- 8238)

(訂正)「2024年3月期第2四半期 決算概要」の一部訂正について

2023年11月9日に公表しました「2024年3月期第2四半期 決算概要」において、記載内容に一部訂正すべき事項がございましたので、下記の通り訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

当該資料の「2024年3月期 第2四半期業績 - 連結損益計算書」(2ページ)に一部誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所については、下線を付して表示しております。

【訂正前】

2022年3月期		2023年3月期		前年同期比	
第2	売上比	第2	売上比	増減額	増減率

【訂正後】

2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
第2	売上比	第2	売上比	増減額	増減率

以 上

# 2024年3月期 第2四半期 決算概要

アキレス株式会社 (コード番号：5142 東証プライム市場)

2023年11月9日

# 1. 2024年3月期 第2四半期 業績

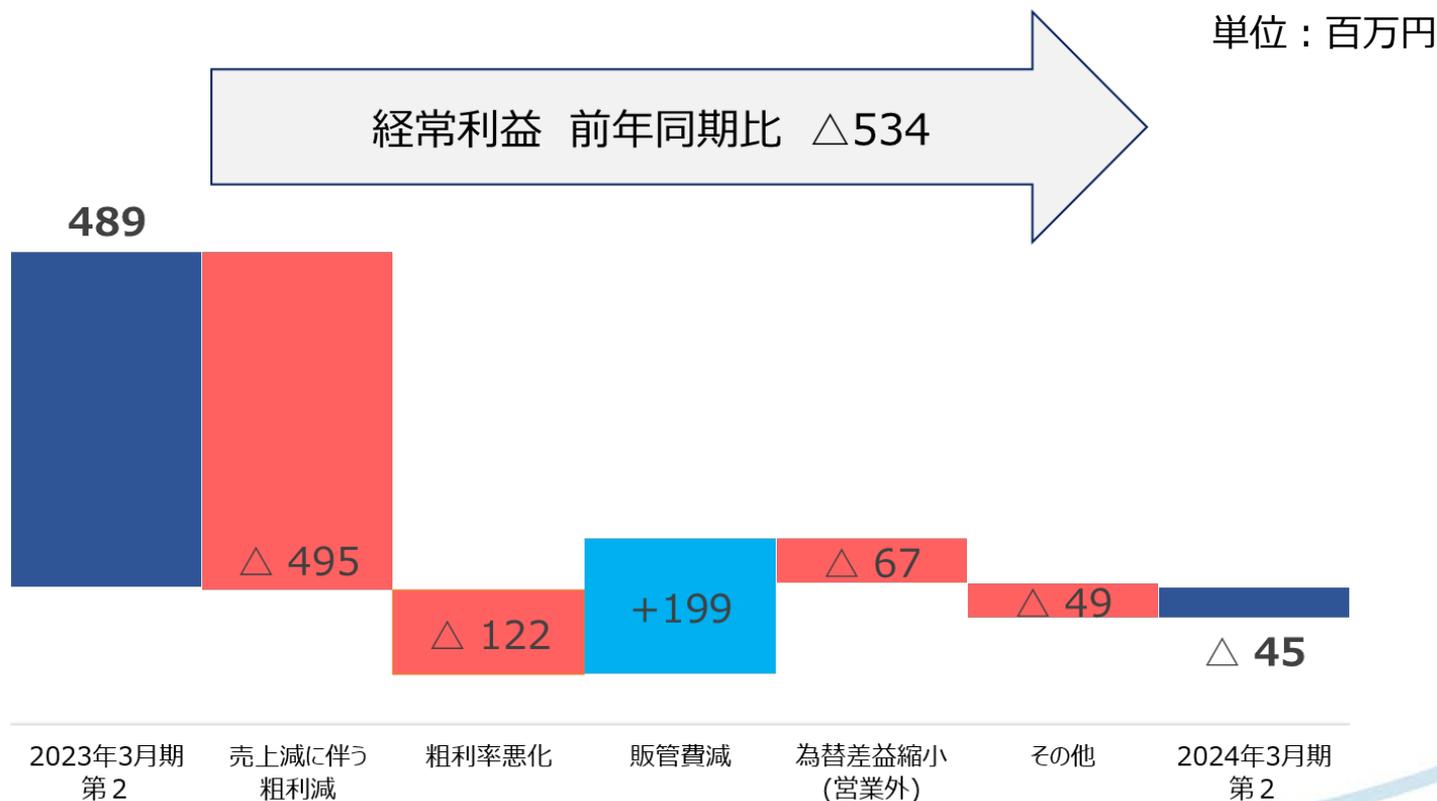
# 1. 2024年3月期 第2四半期 業績 - 連結損益計算書

- 売上高は、自動車関連の内装用資材が回復する一方、半導体や医療・医薬関連製品で在庫調整局面の影響等があり減収
- 一層のコストダウン活動や価格改定を推進する中、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、為替円安に伴う仕入れコスト上昇の影響により519百万円の営業損失
- 為替差益306百万円等の営業外損益を含めた経常損益は45百万円の損失
- 固定資産売却益486百万円等の特別損益を含めた親会社株主に帰属する四半期純利益は154百万円
- 8月9日の修正公表値に対し、利益面は生産性の向上や経費削減に努めたこと等により損失が縮小

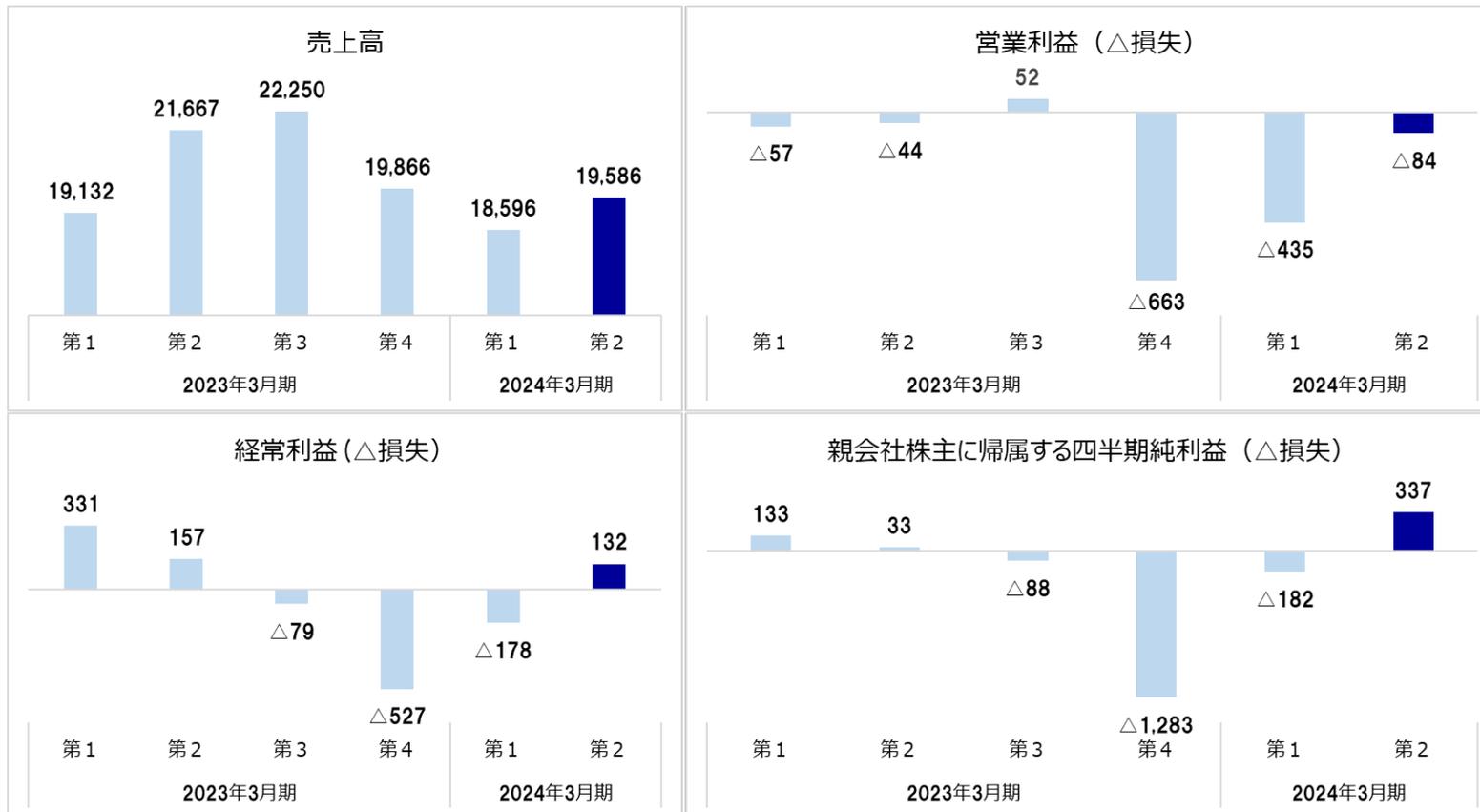
(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比		8/9予想 第2	予想比 増減額
	第2	売上比	第2	売上比	増減額	増減率		
売上高	40,800	-	38,182	-	△ 2,617	△6.4%	38,500	△317
売上総利益	7,709	18.9%	7,093	18.6%	△ 616	△8.0%		
販売費及び一般管理費	7,812	19.1%	7,612	19.9%	△ 199	△2.5%		
営業損失 (△)	△102	△0.3%	△519	△1.4%	△ 417	-	△ 1,000	480
経常利益 (△損失)	489	1.2%	△45	△0.1%	△ 534	-	△ 1,000	954
親会社株主に帰属する 四半期純利益	166	0.4%	154	0.4%	△ 12	△7.9%	△ 300	454
1株当たり四半期純利益(円)	10.73		10.41		△ 0.32		△ 20.13	

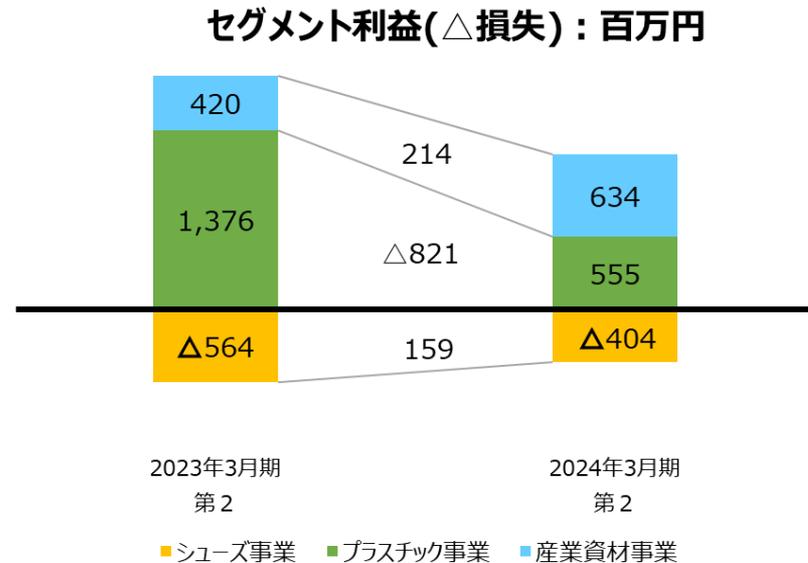
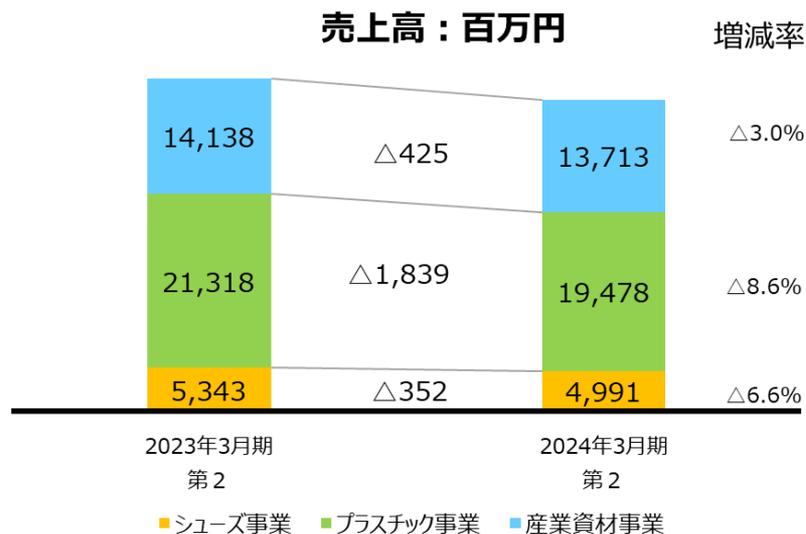
## 1. 2024年3月期 第2四半期 業績 - 経常利益の増減分析



# 1. 2024年3月期 第2四半期 業績 - 四半期別推移



# 1. 2024年3月期 第2四半期 業績 - セグメント情報



- シューズ事業は、ランニング用の「BROOKS(ブルックス)」が好調に推移する中、その他の商品群が伸び悩み苦戦
- プラスチック事業の車輻内装用資材は、国内・北米市場で回復フィルムは、国内外の流通在庫調整や欧州での景気低迷の影響により苦戦
- 産業資材事業のウレタンは、車輻用・寝具用ともに回復基調に推移半導体搬送用部材は国内・海外向けともに低調に推移

- シューズ事業は、価格改定の効果を含む利益率の改善や販売費の削減等により損失幅縮小
- プラスチック事業は、建装資材が利益率の改善により増益となったが、主にフィルムの苦戦により大幅減益
- 産業資材事業は、価格改定の効果を含む利益率の改善等により増益

# 1. 2024年3月期 第2四半期 業績 – 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第2	前期末比 増減額
流動資産	49,181	46,610	△2,571
有形固定資産	26,171	27,214	1,042
無形固定資産	393	414	20
投資その他の資産	10,474	10,700	226
資産合計	86,220	84,939	△1,281
流動負債	27,512	23,630	△3,881
固定負債	12,502	15,287	2,784
負債合計	40,014	38,918	△1,096
純資産	46,206	46,021	△185
負債・純資産合計	86,220	84,939	△1,281
自己資本比率	53.6%	54.2%	0.6%
一株当たり純資産(円)	3,058.80	3,145.82	87.02

・現金及び預金      △1,127  
 ・売上債権           △2,011  
 ・棚卸資産           680

・機械装置及び運搬具   628  
 ・建物及び構築物      439

・仕入債務            △2,860  
 ・短期借入金          △700

・長期借入金          2,750  
 - 国内・外 設備投資案件対応

・利益剰余金          △ 449  
 ・自己株式            △ 689  
 ・為替換算調整勘定   842

## 2. 2024年3月期 業績予想

## 2. 2024年3月期 業績予想 – 8月9日の修正公表から変更なし

- 第2四半期累計期間の業績において利益面が予想より改善したものの、第3四半期以降において原材料価格・エネルギーコストの動向や市場環境など不透明な状況が継続すると見込んでおり、現時点で通期の業績予想は変更しない
- 引き続き、生産性の向上や経費削減の徹底に努め、収益性の更なる改善を図る

2023/8/9 修正公表 (単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比 増減額
売上高	82,917	82,500	△417
営業利益 (△損失)	△713	0	713
経常利益 (△損失)	△117	400	517
親会社株主に帰属 する当期純利益 (△損失)	△1,204	400	1,604

配当金

40円  
(期末)

40円  
(期末)

あなたの身近にいつも—アキレス

**Achilles**

# マモルをツナグ。

私たちアキレスがつけているのは、  
 素材や製品もたらす機能だけではありません。  
 世の中に役立つ“マモル”という価値。  
 そのひとつひとつが、日々の暮らしやビジネス、災害の現場まで、  
 さまざまな領域で社会的課題の解決に貢献しています。  
 より豊かな毎日を、より笑顔があふれる未来を、  
 これからもお届けしていきたいと考えています。

“マモルをツナグ。”とともに。

アキレス株式会社 電話：1188-8888 東京都港区赤坂2-2-14 赤坂アキレスビル5F

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。